

子どもたちが生きいき暮らす奈良を紡ぎます



# ならつむ

通信



vol.

1

特定非営利活動法人「青少年の自立を支える奈良の会」

平成 25 年 5 月 1 日発行

〒630-8114 奈良市芝辻町三丁目 5-19 TEL/FAX 0742-33-2006 E-mail:arannoie@kcn.jp http://jirituenjyo-nara.sakura.ne.jp/

子どもたちに伝えたい…  
一人ひとりが生きる価値のある  
大切な人であること。



おかげさまで今年 4 月 1 日。  
私たちの念願であった自立援助ホームが  
いよいよスタートしました。



## 特定非営利活動法人青少年の自立を支える奈良の会

理事長 友廣 信逸

平成25年4月1日、奈良市の近鉄新大宮駅にほど近い芝辻町に、奈良で初めての自立援助ホーム「あらの家」がオープンしました。

振り返れば、3年前「奈良に自立援助ホームを作る会」と称して、元施設職員や思春期・青年期の子を抱えるお母さんたち、大学教員などで集まり定期的な勉強会を繰り返していくなかで奈良弁護士会の弁護士も加わって、現NPO法人の前身「青少年の自立を支える奈良の会」を設立。近隣の児童養護施設の見学や他府県の既に活動しておられる自立援助ホームを手分けして訪問し、さらに関係機関の方々にアンケートをお願いするなどして、昨年（平成24年）2月に奈良弁護士会館において、「奈良の青少年の自立を支援するための援助ホームを考える」をテーマとして、シンポジウムを開催しました。

今から思うと、ちょうど1年前のこのシンポジウムが、大きな転機でありスタートダッシュだったかと思えます。

それから怒濤の一年が始まりました。シンポジウムを機にさらに新しいメンバーを迎え、ともかくNPO法人の認証を取得しようと動きだし、暑い夏、物件探しに奔

走し、スタッフの公募と選考、いろいろな団体や行政への援助依頼…と、ほとんど毎週運営委員会を繰り返しながら、ついにこの春の「あらの家」の開設を迎えました。

児童養護施設を退所してすぐには行き場の見つからない若者や、家庭の崩壊や虐待等で居場所のない子どもたちの“第二の家庭”として、暖かい、しかし厳しさも備えた、青少年の自立を支援する施設として、「あらの家」は古都奈良の町で、元気な産声をあげたのです。

運営資金の問題、クーラーやパソコン等備品の充実、一緒に食事を作るといった、日常生活支援に多くのボランティアの方々の必要とするなど、まだまだ多くの課題はあります。しかし、竹沢ホーム長をはじめとするスタッフ4人、そして前述の“支える会”のメンバーは、奈良の恵まれない若者たちの社会的自立を支援したいという熱い思いを胸に、生まれたばかりのあらの家を育てていきたいと考えています。今後とも、皆様のあたたかいご支援を心より期待しております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。